

計画策定までの流れとこれまでの審議内容

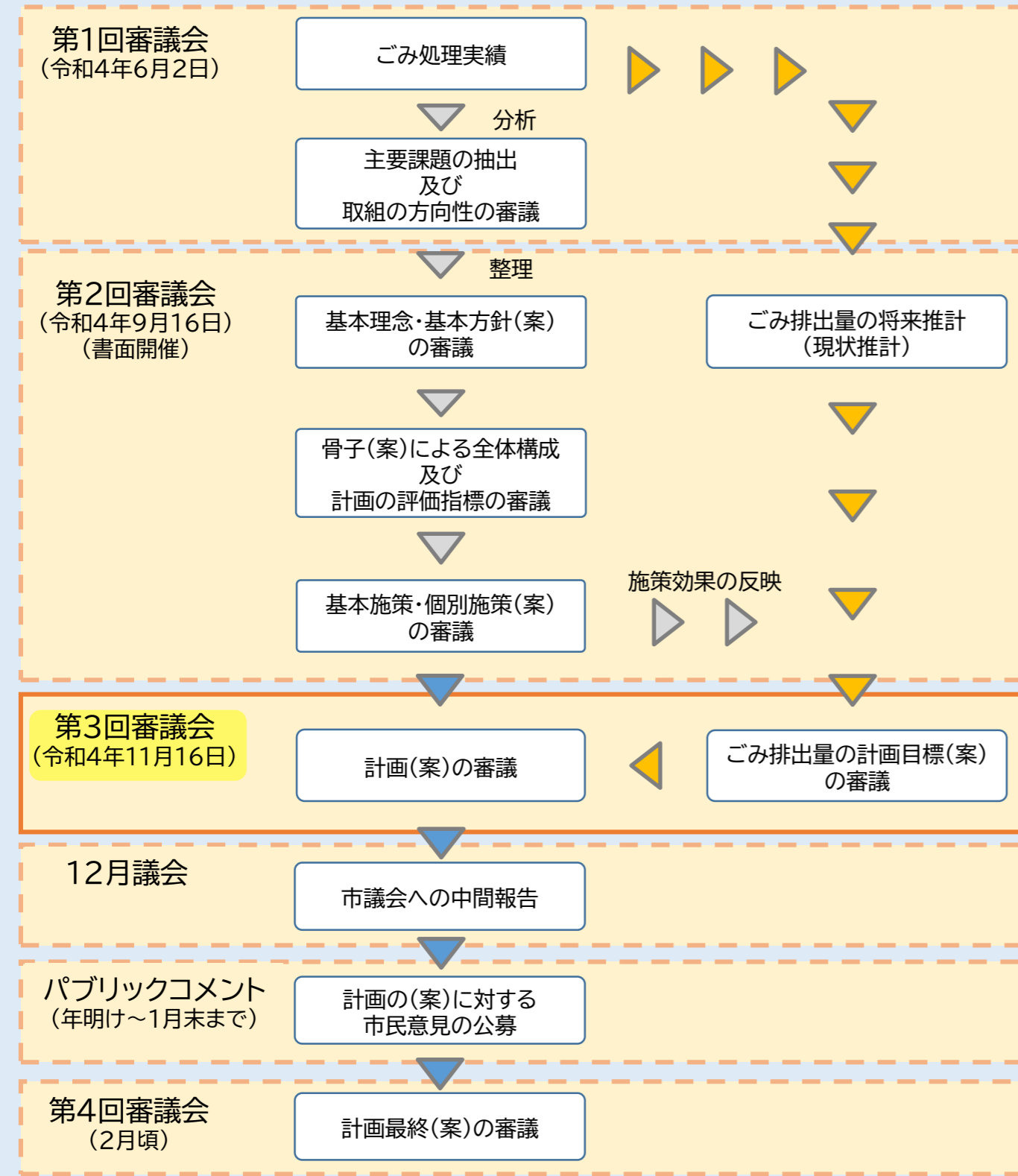
【資料4】
令和4年11月16日
第3回廃棄物処理運営審議会

1 計画策定までの流れ

第1回審議会では、本市の主要課題の抽出・取組の方向性の整理。第2回審議会では、次期計画の基本理念・基本方針や、計画全体の骨子、評価指標、基本施策・個別施策についての審議を行った。

第3回審議会では、次期計画の目標年度である令和14年度の目標値を含む、次期計画(案)についての審議を行う。

第3回審議会後は、市議会への中間報告、及びパブリックコメントを経て、令和5年2月開催予定の第4回審議会にて、計画(最終案)の審議を行う。



2 第1回審議会の審議内容と主な意見

○第1回審議会の審議内容

令和4年6月2日に開催した第1回審議会では、一般廃棄物処理基本計画の法律上の位置付けや他の計画との関係性を確認した。

環境省の示す、「ごみ処理基本計画策定指針」等に基づき、本市のごみ処理実績の整理と標準的な評価項目の数値化を行い、国の目標値や中核市との比較による客観的な評価を行った。

評価の結果に基づき、標準的な評価項目の3つの視点による、“主要課題”を抽出するとともに、課題の分析を行い、本市における今後の取組の方向性について、検討した。

○第1回審議会での主な意見

	意見
①	量販店等での資源物の拠点回収が特に高知市は浸透している。回収量を市へ提供し協力したい。
②	紙類や衣類をはじめとして、リサイクルの方法、考え方を市民が理解しやすい啓発・情報提供を。
③	プラスチック製容器包装に搬入されたものに、ビン・缶・電池類、医療系廃棄物等、約20%の混入。
④	ステーション管理における、カラス問題について、先進事例を参考に対策をお願いしたい。
⑤	大きな会食で、料理が大量に廃棄されている。
⑥	事業所の事業所ごみの排出方法について、踏み込んだ取組・指導等をお願いしたい。
⑦	ごみ処理に大きなコストがかかっており、それが税金により賄われていることの周知徹底を。
⑧	SDGsの理念(「持続可能社会の実現」)を事業者、消費者ともに共有し、ごみ削減につなげる。
⑨	家庭ごみの有料化の持つ意義について、積極的な情報発信を。

3 第2回審議会の審議内容と主な意見

○第2回審議会(書面開催)の審議内容

令和4年9月16日に書面にて開催した第2回審議会では、第1回審議会にて抽出した主要課題・取組の方向性をもとに、次期計画の目指す理想像を示す基本理念や基本方針、計画構成の基本形となる計画全体の骨子、評価指標、及び基本施策・個別施策として、各取組の内容について検討を行った。

○第2回審議会での主な意見

	意見
①	イメージアップが図れて、分かりやすいスローガン(標語)を作ってはどうか。
②	SDGsとの関係性について、17のゴールのみならず、ターゲットや関連する原則等との整理が重要。
③	計画目標は、積み上げで積算することで、PDCAを回しやすく、改善すべき取組が明確になる。
④	住民満足度は、負担軽減よりも“協力度”など積極性のあるものが良い。アンケート調査で数値化してはどうか。
⑤	おしゃれなロゴマーク等も有効。ステッカーの配布など、ごみ問題を明るくおしゃれにできると素晴らしい。
⑥	資源不燃物ステーションの管理の負担軽減や、高齢化等に伴う、ごみ出し困難物への対策が必要。
⑦	プラスチックごみの分別について、幅広い世代に啓発が必要。イラスト等、理解してもらえる啓発が必要。
⑧	今後、開発される新技術や新素材を使用した製品の処理の検討体制の構築、市民への排出方法の案内が必要。
⑨	排出利便性の向上に向けて、土日祝でも排出可能なワンストップ施設があるとよい。
⑩	高知方式の担い手問題等も踏まえ、収集方法の思い切った見直しも検討してはどうか。